



# 企業理念の原点は〈社員成長〉と〈会社発展〉の一致

第4回目は情報システム開発・構築・販売などを手がける(株)ケイエムシーです。情報を通して現代企業を支える同社の経営理念について伺いました。

## 情

報システム開発・構築・販売などを手がける(株)ケイエムシーは、企業や公共団体向けにさまざまなITサービスを提供しています。

数多くのオリジナルパッケージソフトを手がけてきた開発部門



2009年末に移転した社屋は、セキュリティも万全

同社は県内企業による企業グループ「花咲グループ」の中核企業の一つです。同グループは栃木小松フォークリフト(株)や(株)マテハンソフト、(株)マテハンサービスなどで構

### 企業理念

常に新しい価値を創造し、これを支える人々の幸せをつくる

### 経営理念

- ◎人を活かし、人をつくる
- ◎常に革新を求め時代と共に成長し良い会社にする
- ◎創造

### 行動指針

- ◎おそれず挑戦
- ◎たえざる革新
- ◎やりとげる意欲
- ◎ただちに実行
- ◎ほんねで議論
- ◎みずからの向上

成され、創業者の故・花咲実名誉会長の抱いていた理念を企業理念・経営理念・行動指針・経営基本方針として共有しています。「私どもの企業理念や経営理念、行動指針などは、グループ企業全体で共通のものです。これをもとに、各社が事業計画を策定し、業務を行っています」(加藤社長)

朝礼でも必ず唱和しますから、全員が覚えています。企業理念は会社の基本姿勢を的確に表現したものですから、社員に浸透することで、社員全員が企業の基本を身につけていると言ってもいいでしょう。企業理念の考え方の原点は「〈社員の成長〉と〈会社発展〉を一致させる」ことだそうです。「花咲名誉会長は常々「人が一番心の満足を覚える時は、責任に基づく自己の成長欲求が確かな成果となり、さらに適正に評価された時である」と言っていました。企業も同じで、世の中から必要とされ、それに応えることが、生き残るための最も重要なポ

イントだと思えます。だからこそ、私たちはお客様に対しても、社員に対しても、常に新しい価値を創造し続けることが求められているのです」

企業の成長が顧客サービスであり、社員貢献であり、地域への何よりの貢献であると、加藤社長は言います。

「グループの橋本恵美会長は『グループが次の50年に向けて永続的に発展するためには、核となつて変化しないもの(企業理念、各社のブランド)と変化を生み出し続けるもの(事業内容、お客様)の両方が必要』と言っています。それが、私どもの理念のエッセンスだと考えています」

### Information

株式会社 ケイエムシー  
代表取締役社長 加藤紀夫  
創業/昭和54(1979)年  
住所/宇都宮市中今泉5-24-7  
☎028-613-5111  
http://www.k-m-c.co.jp



株式会社ケイエムシー  
代表取締役社長 加藤紀夫氏